

原典 仏典童話より  
音楽 小塚憲二(猿の橋&老人を捨てる国)/稲垣一樹(月光の二人)  
構成・演出 杜川リントロウ  
演奏 つつみあつみ(クラリネット)  
出演 杜川リントロウ

大切な事は、  
大昔から変わらない。

「猿の橋」  
「老人を捨てる国」  
「月光の二人」ほか

歌だけでも、なんと14曲。演奏時間は30分以上！  
生演奏の曲と歌とで、  
仏典童話の世界へと誘います。

#### 猿の橋

ある国に、とてもケチな王様がいました。  
好きなものは自分だけでひとじめしてしまおう王様でした。  
「わしの果樹園の果物を盗んだ者は絶対に許さんからな」  
その頃、山の猿たちは食べものが無くて困っていました。  
そこで猿の王様は考えました。  
「そっだ、お城の果樹園には果物が沢山あってぞ」  
こうして猿たちは果樹園へと向かっていったのです…

#### 老人を捨てる国

むかし、インドのある国はとても貧しく  
「60歳以上になった親は捨てなければならぬ」  
という法律がありました。  
でも、男はどうしても父親を捨てることができずに  
家に連れ帰り置っていました。  
それからしばらくして、その国の王様の元へ  
隣の大きな国から手紙が届きました。  
「見た目は全く同じの二頭の馬のどちらが親でどちらが子供か  
それを答えよ、答えられなければこの国は攻め滅ぼす。」  
国中で考えましたが、答えられる者は誰一人おりません。  
その時、男の父親が口をひらきました…

#### 月光の二人

昔、インドに二つの国がありました。  
片方の国は温和な王が治めとても平和な国でしたが、  
もう片方の国に攻められ、あっという間に滅んでしまいました。  
滅びた国の王子は一人、満月に誓います。  
「父王を殺すすべてを奪った、あの隣の国の王に復讐を」と。  
かたや、隣の国の王はこの元王子を探していました。  
「あいつは私を恨んでいる、あいつを殺さないと」…  
これは復讐の王子と仇の王が、「和解」するまでの物語です。

生演奏の音楽劇で綴る

# 仏典童話

大昔のインドの物語

仏典童話とはインドの昔話を下敷きにした「お釈迦様の前世譚」。  
あまり慣れない方が多いかと思いますが、実はこの仏典童話は現代に伝わる様々な物語の原型になっています。  
イソップ物語やアラビアン・ナイト、さらには日本の今昔物語や宇治拾遺物語などに大きな影響を与えてきました。

その中から「猿の橋」など数本を選び、生演奏の音楽劇で上演します。  
「えっ、この話はこんな昔からあるの？」それはつまり、人間の大切な部分は昔から変わっていないあかしです。  
大切な事は、大昔から変わらない。是非ご鑑賞いただければ幸いです。

大昔根総合駅より徒歩3分に事務所あり **芝居屋杜川リントロウ**

〒462-0810 愛知県名古屋市中区山田1-1-43 杜川リントロウ公演事務所「PICO2」

TEL 090-1291-1603 / 070-5435-7104 E-mail [t2197359@gmail.com](mailto:t2197359@gmail.com) URL <http://m-rintaro.jimdo.com/>